2021年2月吉日

国際ロータリー第2790地区

クラブ会長・幹事　各位

国際ロータリー第2790地区　2020-21年度

ガバナー　漆原　摂子

**グループ再編成の施行延期について**

謹　啓　立春の候　皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。今年度も残り５ヶ月となりましたが、長期にわたる新型コロナ禍により、皆様には、例会運営、また、親睦・奉仕活動の展開等にご苦労の多い日々と存じます。

　さて、昨年７月14日付2020-21年度ガバナー漆原　摂子・2019-20年度地区戦略計画委員会連名の

「国際ロータリー第2790地区グループ再編成について」でご案内させていただいた本年7月1日施行予定の当地区グループ再編成につきましては、ガバナー補佐を通じた皆様への説明に加え、ガバナー公式訪問時にグループ再編成の背景・理由・目的・内容等を説明して参りました。また、昨年12月には、地区運営指針であるＤＬＰ（地区リーダーシップ・プラン）についてご理解をいただくべく、ガバナー月信特別号を発行するなど、会員の皆様に今回のグループ再編成についてご理解をいただく活動をして参りました。

この結果、当初は所属グループの分割に反対の意思表示をしたが、その後、再編案受け入れに態度変更されたクラブ、また、今回のグループ再編成を取り敢えず実施し、問題があれば後日見直しをすればよいとの条件で反対の意思表明を撤回されたクラブ等があります。他方、ご理解いただけたと考えていたクラブの中に、最近になり、反対クラブに同調するとの意思表示をされるクラブが増えています。そして、この度のクラブに対する意見お伺いの結果、ガバナー宛の再編に反対するクラブ数は、非公式表明を含め本年2月15日現在36クラブです。ガバナーに寄せられた意見書・要望書は、当初、何故、グループ内クラブ間友好関係を崩すグループ分割を図るのか・再編成の内容が不公平・地域性が反映されていない・クラブ間親子関係を無視している等の新グループ構成の内容に対する具体的反対が中心でしたが、再編反対の意見表明が増えた現在、ご意見の多い内容は、

1)　グループ再編の通知が唐突であった。

2)　再編にあたり、クラブの意向を聞くことなく進められた。

3)　2021-22年度ガバナー補佐選出手続きが不満でグループ再編成反対。ガバナー補佐については

クラブからの推薦、また、クラブ輪番制を認めて欲しい。

以上の3点です。

今回のグループ再編成に特段の意思表示をしていらっしゃらないクラブの中にもグループ再編成反対の会員がいらっしゃる反面、クラブとしてはグループ再編成に反対だが個人的には理解するという会員

がいらっしゃる等々複雑で、全会員の意見を把握することは困難ですが、私のガバナー任期が半年を切る一方、既に次年度RIテーマが発表され、2021-22梶原等ガバナー年度に向けた準備を始める時期が迫って参りました。ちょうどガバナー月信２月号の冒頭にて改めてグループ再編成へのご理解をお願いしたところでございますが、この現状、及び今般のクラブからのご意見・ご要望を真摯に受け止め、地区戦略計画委員会と協議の結果、本年7月1日からのグループ再編成施行は一旦延期すべきとの結論に達しました。そして、今回のグループ再編成を採択した昨年度の諸岡靖彦直前ガバナーのご了承もいただきました。

つきましては、グループ再編成、及びガバナー補佐任命につき、特に梶原等ガバナーエレクト・小倉純夫ガバナーノミニー・鵜沢和広ガバナーノミニーデジグネイトと熟慮を重ね、今後の手続きは以下を予定しています。

1. 本年7月１日施行予定の新グループ編成の施行を延期し、2021-22年度（梶原等ガバナー年度）、

及び2022-23年度（小倉純夫ガバナー年度）は現行の14グループ制（ガバナー補佐14名）を維持します。

　②　2021－22年度の地区組織図の「戦略計画委員会」の下に「グループ再編会議」を設置し、

「地区戦略計画委員会」の活動方針として3大セミナー等で既にクラブの承認を頂いている

「会員数減少を背景として発生しているグループ別クラブ数・会員数の格差是正（平準化）」を

通じたガバナー補佐の選出、及び責務等の公平化、並びに会員数減少を背景としたガバナー補佐

の削減（グループ数の削減）に資するグループ再編成に、クラブとの意見交換を通じて取組みま

す。

1. 2022-23年度を新グループ再編成案の地区内周知・準備期間とします。
2. 2023年7月1日（鵜沢和広ガバナー年度）に新グル－プ再編成案を施行致します。
3. 2022-23年度以降のガバナー補佐選出は、クラブからの推薦を得た上で適任者を選考することとし、クラブ輪番制を否定するものではないことをクラブに周知徹底します。

会員数減少、及びその結果もあり、グループ別クラブ数・会員数の格差が拡大すると共に、多くのクラブが近年抱える会員減少、及び会員減少に伴う会員研修不足、あるいは奉仕活動不十分等の課題を勘案し、地区は、クラブの活動活性化の一助とすべく、2015-16年度のガバナー補佐会議における分区（現在

のグループ）再編成案提示を始めとして、「地区戦略計画委員会」を中心にグループ再編成を検討して参りました。そして、再編成にあたっての基本方針は「地区戦略計画委員会」の活動方針として既にクラブの承認をいただいております。この経緯を通じ、2019-20年度に新グループ構成が2021年7月１日施行で決定されたことに伴い、私は地区内クラブの皆様に実施に向けたご理解をいただくべく努めて参りま

した。しかし、当地区では過去20年間グループ（当時は分区）の組み換えが無かった中、発表を急ぎすぎたこともあり、クラブの十分なご理解をいただくに至らず、今般の件があらゆる意味で大きな騒動となりましたことは、新グループ構成のクラブへの周知徹底の任を負った当該年度ガバナーとして、

ご協力いただいたクラブ、そして反対されているクラブの双方に対し、大変申し訳なく、深くお詫びを申し上げる次第です。

今後は、梶原等ガバナー年度が7月よりスムーズにスタートするよう、また、クラブが一層の活動活性化を通じて発展されますよう、私と致しましても、残りの任期を全力で取り組む所存でございます。新型コロナ禍の収束が未だ不透明な中、皆様にはクラブ運営にご苦労されていると存じますが、ガバナー補佐、また地区委員会等の協力・支援をも得て、クラブが抱える課題の早期解決に取り組んでいただくようお願い申し上げます。

謹　白